町民、町、九州大学の信頼関係がつむぐ歴史ストーリー

1 久山町研究・健診事業のはじまり

久山町の健診事業は、昭和30年4月に始まりました。その きっかけは、町民の健康を願う町長と、当時死因が第一位であった脳卒中の正確な診断について調査を必要としていた九州大学の、「ふたつの思い」が一致したことでした。

はじまりは、「ふたつの思い」の出会いから

昭和30年の三月過度、久山町の江口浩平初代町長は、自ら町民の健康に関する集計表を作成し、町民の健康をよりにして守っていくか、対策を考えていました。

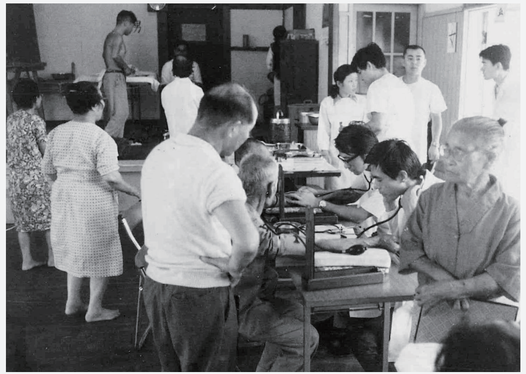
一方、九州大学は、当時死因が第一位であった脳卒中の原因とされる諸々の要因を究明するため、実態把握からできる集団健診を行える地域を探していました。

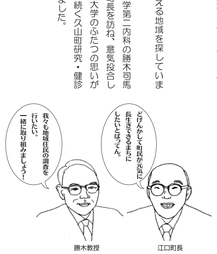
3月9日、九州大学第二内科の勝木司馬之助教授が、江口町長を訪ね、意投合します。久山町と九州大学のふたつの思いが出会い、その後60年続く久山町研究・健診のはじまりとなりました。

「検診」と「健診」の違い

1960年代はまだまだ「けんしん」は検診と表現されていました。

「検診」は、がんなどの特定の疾患を対象とする医療行為であり、「健診」は、疾患に限定されず、健康状態を総合的に評価することを目的とする医療行為であるとされています。





勝木教授　江口町長

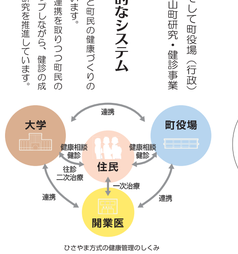
2 ひさやま方式

ひさやま方式とは、住民を中心に、大学と町四開業医、そして町役場（行政）の3つの立場が互いを理解し合い、また役割を果たし、久山町研究・健診事業を住民の健康づくりに役立てていくシステムです。

住民を中心に行政や大学等が連携する画期的なシステム

住民は、健診を受けることにより、自らの健康を知るだけでなく、研究への協力など、自らの事業の進行継続に寄与しています。

町役場は、大学と共同で、健診成果を活かした健康指導等を通携を取りつつ町民の健康をフローアップしながら、健診の成果を活かして学術研究を推進しています。



ひさや方式の健康管理のしくみ

3 病理解剖（剖検）の開始

病理解剖は脳卒中の正確な診断と危険因子の影響を明らかにするために必要なことでした。しかし、その頃、地域ぐるみで剖検に協力しているところは世界にもなく、当初は、住民から疑問と反対の声も多くありました。

剖検に対する住民の理解を得て、開始から53年後の昭和39年に剖検率100%を実現するまでに住民の理解を得て、多くの人々の努力と苦労のエピソードがあります。

病理解剖へ、住民の説得 ― 安楽寺住職・門徒総代 ―

町の人々に病理解剖の意義を理解してもらうため、医学の方面からの協力はかりでなく、町内の寺の住職達方精神面を救ってくれたとされています。

安楽寺の当時の住職亀井恵達氏は「こんな住生活送けても、例えば体が集ったい眼期であっても、その未来は救済されるというのがお教えである」と、親鸞上人の言行録（宗祖伝）の一節「末師聖人のせに曰く、某親鸞刑罰せば賀茂川に入れて魚に与ふべし」自分の死後体が果たすことのできる親鸞の教済の気持を、まじめて賀茂川の魚のえさにもなることを表しました。亀井氏は後日一解剖への協力は、人類を苦しめる病気の解明にもつながる。それは尊い相互扶助の資、仏教でいう菩薩のひとつ、衆生の救、の実践であること、健康への挑戦、と述べられています。

4 健診・研究存続の危機

昭和44年、米国NIH（国立衛生研究所）からの研究費の打ち切りにより、久山町研究は存続の危機にみまわれました。しかし、10年に及ぶ健診事業が町民にとって大切であると実感していた町は、健診・研究の存続を強く望みました。

町議会で継続を決議し、町は予算の確保に奮闘しました。

その決断が久山町研究・健診が50年以上続くことに繋がりました。そして、この当時の関係者の英断が、次の世代への健康づくりに繋がっていました。

昭和39年5月7日の第1回剖検通夜部屋跡のようすを伝える「久山町健康増進クラブ会報」

米国NIHからの資金援助終了後、昭和48年にWHOから久山町に移管され、久山町研究・健診事業の存続を強く支援。

健康増進クラブ

健診・検査結果に次いで重要な問題は「どうすれば健康でいられるか」ということであるとされていました。

「健康増進クラブ」は、健診データを健康づくりに生かしていこうというのが会の趣旨で、会則に「九大第二内科の成人病研究に協力すること」を目的とすることが定められました。

昭和38年の発会式には、二百人なったら、意義するとこに協力する、という、回答を、参加者全員が、誓いました。その、ための、意識を準備されていました。

削除されて、「健増推進クラブ」の意義は大きかった。

剖検（ぼうけん）とは

久山町研究では、剖検（ぼうけん）とは、ご遺族の方の了解のもとで、亡くなられた方の病気などの原因を調べるために行う解剖。個人の病気などの原因を調べ、適切な治療や医療に生かせる情報を得ることなどを目的として行われます。

5 保健活動の充実・拡大へ

健診開始後10年ほど経過したころから、より住民の健康に力を入れるべく、町は保健師の人数を増やし、さらに他の自治体に先駆けて女性保健士を採用しました。住民の健康に対する意識も高まるなかで、様々な親睦団体や保健活動が生まれていきました。昭和52年には全国でも例のない「健康課」が新設され、町民の健康管理における基盤ができ、今日まで様々な保健活動に繋がっています。

健診内容の充実

昭和49年に40歳以上の住民を対象とした40歳代・青壮年の検診がスタートしていて以降、様々な健康課題への取り組みとして、住民の健康に対する意識が次第に高まりました。

昭和60年には、中村学園大学による食事調査を開始し、平成10年以降に九州大学の歯科、眼科、呼吸器科などの検査が加わることで、健診内容の充実が図られました。

成人病健診（昭和60年）

保健栄養教室（昭和51年）

健診・研究成果を活かした健康づくり

高血圧が脳卒中、心臓病の危険因子であることが、昭和50年に「高血圧対策を開始し、「高血圧を克服する会」が発足しました。同年に住宅施用の管理や食生活指導などにより、住民自ら血圧管理に努めるようになりました。

また、昭和63年から開始した糖負荷試験で、糖尿病の発見に役立ちました。

さらに、平成26年に開発されたソフトウェアを用いて、糖尿病発症予防を目的として保健課指導や糖尿病予防教室を行っています。

6 小さな町の大きな功績

久山町の健康に対する長年の取り組みは、高い評価を受け、数々の表彰を受けています。中でも保健文化賞は、昭和38年と平成18年の2回受賞しており、人口8500人の小さな町としての、大きな誇り高き功績となっています。

成人病健診（昭和60年）

保健栄養教室（昭和51年）

保健文化賞

第二生活習慣病対策部門（昭和38年）
NHK厚生文化事業団

第一生活習慣病対策部門（平成18年）
厚生労働省

※成人病検診の開始以来、出生前の胎児期に加算する、町民の一生を通じた健康管理や健康増進事業を実施してきた。多大な効果が認められました。（第20回）

※脳卒中の発症機構に関する学術的研究の開始および、ゲノムの保健に活用されて、将来のテーラーメイド医療・予防の保健に活用されて、マンパワーのリーダーに貢献したことが認められました。（第20回）

その他の受賞歴

自治大臣賞 昭和52年（自治大臣）
輝ける社会賞 昭和38年（毎日新聞社）
厚生大臣賞 昭和43年（厚生大臣）
健康寿命をのばそう！アワード 平成13年（厚生労働省）
内閣総理大臣賞 平成48年（内閣総理大臣）
内閣総理大臣賞 平成27年（内閣総理大臣）
フェニックス大賞 平成29年（公益財団法人フェニックス）
フェニックス大賞 令和2年（公益財団法人フェニックス）
ロコモ対策健康長寿賞 令和3年（一般社団法人日本ロコモ協会）

当時のポスター（昭和51年）

母子保健・歯科保健活動への発展

昭和50年には九州大学医学部小倉病院の協力を得て、乳幼児健診の充実を図りました。

昭和59年には当時の九州大学歯学部予防歯科、開業医、教育委員会、学校、保護者と連携を図り、「乳幼児期から中学卒業まで「歯科保健対策」を推進しています。これが基礎となり、現在は成人の歯科保健対策も進められています。

健診のあゆみ

1961年(S36)3月 九州大学医学部第二内科教授、成人病研究所長、勝木司馬之助教授、久山町研究の提唱者
4月 九州大学医学部第二内科の成人病研究班が発足。
1962年(S37)1月 久山町研究に関し、米国国立衛生研究所（NIH）からの研究費獲得が開始。44年まで5年間の研究費総額が開始。
1963年(S38)2月 久山町健康増進クラブが発足。
3月 第1回実施調査を実施。
1964年(S39)2月 胃検診を開始。40歳以上の住民を対象に。
5月 第1回高血圧対策を開始。（以後毎年高血圧啓蒙月間を開催する）
1966年(S41)2月 「久山町研究」（ヒ）が刊行され始まり。
1968年(S43)2月 「研究」（ヒ）が刊行され始まり。
1970年(S45)10月 久山町役場新庁舎竣工。
1971年(S46)4月 成人病検診の内容の充実を図るべく、町内の各公民館で、実施。
1972年(S47)5月 「高血圧対策を開始。
11月 成人病検診が開始される。
12月 「高血圧対策を開始。
1973年(S48)4月 成人病検診の内容の充実を図るべく、町内の各公民館で、実施。
1974年(S49)2月 「高血圧対策を開始。
1975年(S50)7月 「高血圧対策を開始。
1976年(S51)3月 「久山町研究」（ヒ）が刊行され始まり。
1977年(S52)7月 行政機関第二次調査（全数調査）を実施。
10月 「高血圧対策を開始。
11月 久山町基本構想、健康増進計画策定。
12月 健康カレンダー、各戸打ち設置、広報アイデア募集。
1978年(S53)3月 久山町研究・健診センターが久山町健康づくり参画。
4月 九州大学健康科学センター（九州大学医学部）が発足。
6月 40歳以上の住民の成人病一斉検診を各公民館で実施。
9月 40歳以上の住民の成人病一斉検診を各公民館で実施。
12月 「久山町研究」（ヒ）が刊行され始まり。
1979年(S54)1月 久山町研究に関し、米国国立衛生研究所（NIH）からの研究費獲得が開始。
1980年(S55)4月 久山町研究・健診センターが久山町に移管。
8月 成人病健診20周年記念行事を開催。健康増進クラブ発足。
1981年(S56)8月 成人病健診30周年記念行事を開催。健康増進クラブ発足。
1983年(S58)7月 人病・胃検診を開始。
1984年(S59)4月 人病・胃検診を開始。
1985年(S60)5月 人病・胃検診を開始。
6月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。第1回高血圧対策講演会を実施。
7月 九州大学医学部第二内科へ町内役員と協力。
8月 九州大学医学部第二内科へ町内役員と協力。
9月 久山町研究・健診センターが久山町に移管。
10月 第1回高血圧対策講演会を実施。
11月 第1回高血圧対策講演会を実施。
1986年(S61)5月 人病・胃検診を開始。
6月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
7月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1987年(S62)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1988年(S63)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1989年(H1)1月 「久山町研究」（ヒ）が刊行され始まり。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1990年(H2)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1991年(H3)1月 「久山町研究」（ヒ）が刊行され始まり。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1992年(H4)4月 人病・胃検診を開始。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1993年(H5)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1994年(H6)4月 人病・胃検診を開始。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1995年(H7)3月 上海市医薬大学から2名の専門員を招聘。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1996年(H8)4月 人病・胃検診を開始。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1997年(H9)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1998年(H10)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
1999年(H11)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2000年(H12)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2001年(H13)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2002年(H14)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2003年(H15)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2004年(H16)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2005年(H17)4月 有病者住宅訪問入浴サービス開始。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2006年(H18)6月 生活習慣病講演会実施。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2007年(H19)6月 生活習慣病講演会実施。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2008年(H20)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2009年(H21)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2010年(H22)6月 生活習慣病講演会実施。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2011年(H23)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2012年(H24)6月 生活習慣病講演会実施。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2013年(H25)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2014年(H26)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2015年(H27)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2016年(H28)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2017年(H29)6月 生活習慣病予防健診実施。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2018年(H30)4月 久山町研究・健診センターが久山町に移管。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2019年(R1)4月 久山町研究・健診センターが久山町に移管。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2020年(R2)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2021年(R3)2月 生活習慣病講演会実施。
7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。
2022年(R4)7月 人病・胃検診を開始。
8月 胃検診数が1,000名を超える。
9月 中村学園大学が久山町健診時に食事調査を開始。
10月 第3回高血圧対策講演会を実施。

久山町生活習慣病予防健診60周年記念

手から手へつないできた60年

ひさやま健診

ひさやま健診60周年記念

オリジナル
エコバッグ
お届けします。

※写真はイメージです。

久山町